

令和2年度 調布市障害者（児）地域生活支援拠点の運営状況について（報告）

1 調布市障害者（児）地域生活支援拠点の概要

平成31年4月より「面的整備」として運用開始

（注）面的整備：必要な機能を地域における複数の機関が分担して担う

(1) 拠点の機能

- ア 相談
- イ グループホーム等の体験
- ウ 緊急時の受け入れ体制の確保
- エ 人材の確保・養成
- オ 地域の体制づくり

障害者の地域生活支援に必要な機能を集約した施設（面的整備も可）を、各区市町村において整備することとされています。

(2) 構成機関・事業

- ・調布市障害者基幹相談支援センター（障害福祉課）
 - ・障害者地域活動支援センタードルチェ
 - ・障害者地域生活・就労支援センターちょうふだそう
 - ・地域生活支援センター希望ヶ丘
 - ・調布市こころの健康支援センター
 - ・調布市子ども発達センター
 - ・調布市知的障害者グループホームすてっぴ共同生活援助事業
 - ・調布市地域で支える体制づくりモデル事業（あんしんネット）
 - ・調布市知的障害者援護施設なごみ短期入所事業
 - ・調布市在宅障害者ショートステイ事業
 - ・調布市障害者（児）委託型緊急一時保護事業
 - ・調布市福祉人材育成センター事業
 - ・調布市障害者地域自立支援協議会
 - ・市内に所在する特定相談支援事業所又は障害児相談支援事業所であって市長が認定するものを行う特定相談支援事業又は障害児相談支援事業
- } ア, オ
- } イ
- } ウ
- } エ
- } オ
- } ア, オ

2 令和2年度の取組

調布市障害者（児）地域生活支援拠点連絡会の開催

※「サービスのあり方検討会」と一体的に開催

第1回 令和2年8月31日

- ・特定相談支援事業所の拠点参加状況・加算算定状況の確認
（市内14事業所中、7事業所が参加）
- ・「地域体制強化共同支援加算 記録書」の改訂

第2回 令和3年2月22日

- ・特定相談支援事業所の拠点参加状況・加算算定状況の確認
- ・地域体制加算共同支援加算の「記録書」から課題整理
- ・令和3年度障害福祉サービス等報酬改定について

【参考】拠点関連加算の算定状況（令和2年4月から1月提供分まで）

事業所名	登録時期	相談支援 強化加算	体制強化 共同支援加算
希望ヶ丘	R1年8月	0回	4回
ちょうふだそう	R1年8月	4回	21回
ドルチェ	R1年8月	0回	6回
障害福祉課	R1年10月	0回	0回
子ども発達センター	R1年9月	0回	0回
こころの健康支援センター	R1年12月	0回	0回
マーレ相談支援事業所	R1年10月	0回	3回
合計7か所		4回	34回

相談支援事業所が「拠点」の一部となることで算定できる加算（報酬の上乗せ）があります。
「体制強化共同支援加算」は、各相談支援事業所が利用者の支援会議を行った際に、個別ケースから地域資源の課題等を抽出し、記録を自立支援協議会に提出することで算定できるものです。

個別の利用者の支援の現場から抽出した地域課題を集約し、自立支援協議会での今後の検討に資することを目的としています。

3 課題整理

提出された「地域体制共同支援加算 記録書」の内容から抽出した地域課題，地域生活支援拠点へのニーズを以下に整理。

グループホームなど居住の場

(空き状況)

- 体験型グループホームを利用後すぐに利用できるグループホームが近隣にない。
- 市内に空きのあるグループホームが少なく，他市で探さざるを得ない。

(対象者)

- 市内の知的障害女性向けのグループホーム
- 児童養護施設卒業後に行き場のない方への生活の場
- 自閉傾向やこだわりの強い知的障害者に適した同法人運営のグループホームと作業所が少ない。重度知的障害者のグループホームの充足（作業所と一体型）

(設置形態)

- 単身型グループホーム
- 市内における一人暮らしタイプのグループホームの充足

(グループホームから単身生活への移行)

- 生活保護受給者の場合，本人の希望だけではグループホームから卒業できない場合がある。卒業できない場合にグループホームも含めて関係機関と本人の関係維持が困難になる。

(入所施設)

- 近隣で利用できるミドルステイできる施設
- 重度の方でも利用できる短期・長期入所施設
- 高齢施設に合わないであろう年齢で認知症を発症した知的障害者の適切な施設入所先が少ない。
- 知的障害者の入所施設の空きが近隣含め全くない。
- 家族と適度に会える距離で施設入所できる場所
- 重度知的障害と身体障害の対応が可能な入所施設

ヘルパーの確保

- 重度訪問介護事業所を探しているが，見つからない。
- 重度訪問介護を受け入れてくれるヘルパー（単価，人員，スキル不足）
- 移動支援のヘルパーが見つからない（報酬単価の低さ）

中軽度の障害者への支援

- 就職していた人が就労継続支援B型や就労移行支援に通所することに抵抗があることが多い。就職していた人が自分のプライドを傷つけずに段階的に通所できるようなところが必要なのではないか。
- 知的に軽度の利用者が利用できる刺激が少ない地域で生き生きと生活できる施設がない。
- 利用者同士の自発的な交流を妨げないようにしつつ、参加者同士のトラブル予防など
- コロナウイルス流行の中、自宅以外の居場所を求める知的障害・発達障害の方が利用できるフリースペースのような場所が少ない。
- 入院前は自立生活援助による週1回の定期的訪問で本人が困ったことを解消してきたが、退院後の地域定着支援だと本人からの発信がないと支援がつながりにくい。自ら発信が難しい方は状況に応じて自立生活援助の延長ができるの良いのではないか。

高齢障害者への支援・介護保険サービスとの連携

- 介護保険と障害福祉サービス、お互いの分野への理解。その機会
- 介護保険へ移行する手続きに時間がかかり、すぐに必要なサービスが調整できない。
- 平均寿命の延伸もあり、いずれ必然的に介護保険へ移行するのであれば、障害福祉サービス事業と介護保険事業が綿密かつ、より迅速な連携が必要。
- 定期的かつ継続的に顔を合わせて気持ちに寄り添うことが信頼につながり、支援者同士が連携していることは安心感につながる。それぞれの事業所が自宅訪問する機会や一堂に会する機会をできる限り増やせると良い。
- サービス提供時モニタリング加算のように、支援者が自宅などの本人の生活拠点を訪問して現状を確認し、本人や家族のニーズを把握して調整した場合にも、各事業所への支援報酬があれば、支援者への費用が充足される。
- 知的障害の子と認知症の父が地域で暮らしていくため、お互いのサービスを利用しながら生活が実現できるか。障害サービスと高齢・介護保険サービス、後見人等の支援者の連携が必要である。

健康管理の支援

- グループホームでお小遣い管理ができるようになったが、昼食は単独で購入することが多く、食べたいものと身体に合ったもの、そして、お小遣いの金額に見合ったものとカロリーの高いものとの学習する機会がなかった。購入した昼食だけに着眼してアドバイスすりよりも、店で本人が選ぶ場面に立ち会い、より良い選択肢を選ぶ方法を伝えていく機会を作ることで、本人自身が学習し成長することができる。
- 家族が代理で（薬を）受け取りに行っても、本人の様子やニーズを説明できず、薬剤師から適切な助言を得にくい。おくすり手帳に、嚥下障害の程度や、普段の服薬方法を記載するようにすれば、

薬剤師もニーズを把握しやすくなる。

- 家族だけでなく、通所などの直接支援者からの服薬状況の情報も、医師や薬剤師に共有できれば、より早く現状に気が付き、服薬指導の中で適切な助言が得られたかもしれない。

複合的な課題・制度の狭間への対応

- 社会からはみ出したり、一般の福祉サービス適さない間にいる人への新たな福祉サービス
- 聴力障害がある軽度知的障害者が活用できるツールが少ない。
- アルコール依存症の方が利用できる資源が AA か病院のプログラムしかない。知的障害のある方の場合には、内容が分かりにくく参加すること自体がストレスになっている。
- 介護保険制度や障害福祉サービスに縛られないサービス
- ひきこもりのように時間をかけてゆるやかな関わりを続ける場合のサービスを提供する事業所への負担軽減
- 事情があって自宅にいられず、すぐに生活保護にもなれず行き場のない知的障害者の金銭・生活支援が難しい。
- 被虐待児が 18 歳になり保護解除となった後のサポートの場（支援を受けながら居住できる場所、日中の通い先、仕事に就くまでの訓練の場、居場所など）。二次的に生じたうつ症状から支援に入ったが、精神障害者支援の場は本人のニーズに合わない。自立援助ホームが不足している。
- 本人だけでなく家庭を対象とした家事援助などの衛生面改善を図るサービス

その他

- 地域、近隣の関係性構築及び障害理解
- 急遽の意思疎通支援に対応できるように対応できる事業所、システム
- 災害時、電気がなくても発信できる SOS システム
- 身体状況から高次脳機能障害の対応に特化した通所先
- 年齢や高次脳機能障害の多様な症状に対応できる施設
- 記憶障害の方でも簡単に SOS を発信できるシステムや仕組み
- 行動障害（自傷や他害など）のある方に対応する送迎付きの生活介護施設
- 送迎付きの就労継続支援 B 型事業所
- B 型作業所の作業内容がカフェなどの飲食、清掃、雑貨制作、デザインやアプリ開発さらに豊富に広がると良い。
- 作業所以上就労未満のような中間就労の場